

左 东 医 報

2024—12

LIX—8 (704)



『The two of us together』

修学院第二班 北 川 靖 先生



目 次

2024年12月号（704号） 題字 平 澤 興 先生

表紙写真・文章	修学院第二班 北 川 靖	1
理 事 会 記 録		3
左京医師会学術講演 要旨		
呼吸器臨床症候・病歴から考える実地臨床		
	京都大学呼吸器内科 講師 佐 藤 篤 靖 先生	9
第33回左京医師会認知症研究会 要旨		
抗A β 抗体薬の登場によるAD診療Update		
	京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻	
	教授 木 下 彩 栄 先生	11
左京区民ふれあいまつり 2024	八 田 告	12
左京医師会 講演会等の予定		16
随 筆		
「疏水の水音でフィナーレを迎えた幕末維新の京都交響曲」		
第十三話「京都帝国大学に続いて立命館大学が開設され		
学生の街・京都となった」(その3)		
	山 下 敬 司	17
「七仏七界」 西国四十九薬師霊場巡りの旅		
その伍 前編「璃界」	松 下 匡 孝	27
新入会員紹介		31
編 集 後 記	兵 庫 美砂子	32

左京医報 表紙募集!!

会員の皆様の写真や絵画などを募集しています。
左京医師会事務局までご連絡ください。

表紙のことば

『The two of us together』

修学院第二班 北 川 靖

1年前から、目に映った風景をデジカメで写真に撮ってfacebookにアップしています。子育てを頑張っているツバメなど 鳥たちや、花、空を見ていると、心が温かくなります。拙い写真ばかりですが、よろしかったらfacebookもご覧ください。

一般社団法人左京医師会令和6年度第13回定例理事会

日 時：令和6年10月25日（金）

場 所：国立京都国際会館

出席者：塩見・松下・十倉・藤田・三嶋・赤木・細谷・山下・青木・原山・佐藤・早野
久保田・児玉・松本・松本・八田・市田・伊地智監事・米田監事

議事録署名人：塩見会長・米田監事

I. 報 告

1. 会長報告

1) 10月11日（金） 平 憲二先生（上高野班・宝ヶ池リハビリテーションクリニック）
面談 於：国立京都国際会館

2) その他

来訪、会合、他

1) 10月29日（火） 令和6年度左京区地域保健推進協議会
14時 於：左京区役所

2) 11月3日（日・祝） 京都府医師会創立77周年記念式典
10時30分～14時10分 於：リーガロイヤルホテル京都

3) 11月14日（木） 令和6年度左京区犯罪被害者支援連絡協議会通常総会
14時 於：左京区役所

4) 11月30日（土） 左京三師会 16時15分 於：京都ブライトンホテル

5) 12月1日（日） 2024年度（第6回）京大病院地域連携の集い
15時 於：芝蘭会館

6) 12月14日（土） 令和6年度京都市左京歯科医師会忘年会
18時 於：ホテルオークラ京都

7) 令和7年1月18日（土） 京都府医師会との懇談会
15時 於：ウェスティン都ホテル京都

8) 令和7年1月18日（土） 新年会 16時30分 於：ウェスティン都ホテル京都

9) その他

2. 庶 務

1) 10月19日（土） 2024年度第1回コミュニケーション委員会（ハイブリッド開催）
佐藤尚志先生 於：京都府保険医協会

2) 10月23日（水） 第6回地区庶務担当理事連絡協議会（ハイブリッド開催）
於：京都府医師会館

3) 11月30日（土） 左京三師会 16時15分 於：京都ブライトンホテル

- 4) 令和7年1月18日(土) 京都府医師会との懇談会
15時 於：ウェスティン都ホテル京都
- 5) 令和7年1月18日(土) 新年会 16時30分 於：ウェスティン都ホテル京都
- 6) その他

3. 地域医療

- 1) 10月15日(火) さきょう認知症にやさしい地域づくり部会
赤木美砂先生、西村伊三男先生 於：左京区役所
- 2) 10月19日(土) 第33回左京医師会認知症研究会
「抗Aβ抗体薬の登場によるAD診療Update」
京都大学人間健康科学系在宅医療・認知症学分野
教授 木下彩栄先生
出席；30名 於：ウェスティン都ホテル京都
- 3) 10月21日(月) 左京区事業者連絡協議会例会(Web開催)
塩見聡史先生、松下匡孝先生、原山拓也先生
- 4) 10月21日(月) 左京区事業者連絡協議会研修会(Web開催)
「高齢者のきこえを支える」
兵庫美砂子先生 出席；3名
- 5) 11月4日(月・振休) 左京区民ふれあいまつり2024
午前 青木信裕先生、八田 告先生
(塩見聡史先生、松下匡孝先生)
午後 細谷泰久先生、松本早苗先生
(塩見聡史先生、松下匡孝先生)
10時～15時 於：左京区役所
- 6) 11月17日(日) 令和6年度「歯のひろば」
原山拓也先生 11時～14時 於：左京区役所
- 7) 11月23日(土・祝) 第31回左京区民ふれあいウォーキング
松下匡孝先生 9時30分～15時30分 於：宝ヶ池公園
- 8) 12月7日(土) イライラしない子育て講座 14時～15時30分 於：左京区役所
- 9) 12月18日(水) 令和6年度第2回認知症総合支援事業アドバイザーボード(ハイブリッド開催)
西村伊三男先生 17時30分 於：京都府医師会館
- 10) 京都市左京区在宅医療・介護連携支援センター
- 11) その他

4. 情報広報

- 1) 令和7年2月3日(月) 情報広報委員会(Web開催)

- 2) 医報
- 3) その他

5. 学 術

- 1) 10月19日（土）「呼吸器臨床症候・病歴から考える実地診療」
京都大学呼吸器内科 講師 佐藤篤靖先生
出席；29名 於：ウェスティン都ホテル京都
- 2) 11月16日（土）「コモンな皮膚疾患の診断と治療」
京都府立医科大学北部キャンパス長 加藤則人先生
14時30分 於：青蓮会館

6. 社 保

7. 福 祉

8. 税 務

9. 会 計

- 1) 8月・9月分予算管理月報・収支決算書推移表

10. そ の 他

II. 議 事

- 1) 平 憲二先生（上高野班・A・宝ヶ池リハビリテーションクリニック）
入会申込書・新規開設申込書について ⇒承認
- 2) 藤田和子先生（北白川2班・B・日本バプテスト病院）入会申込書について⇒承認
- 3) 医療法人財団医恵会聖護院皮膚科クリニック（新洞錦林班・祖慶美希先生）
医療機関名変更届について ⇒承認
- 4) 医療法人財団医恵会聖護院皮膚科クリニック（新洞錦林班・祖慶美希先生）
移転届について ⇒承認
- 5) 医療法人財団医恵会聖護院皮膚科クリニック（新洞錦林班・祖慶美希先生）
診療時間変更届について ⇒継続審議
- 6) 新年会について ⇒承認
- 7) 「脳卒中生活期かかりつけ医」に関するセミナーの後援・周知について ⇒継続審議
- 8) その他

次回理事会：11月8日（金）

文責：松木、佐藤

一般社団法人左京医師会令和6年度第14回定例理事会

日 時：令和6年11月8日（金）

場 所：国立京都国際会館

出席者：塩見・松下・十倉・藤田・赤木・西村・細谷・山下・青木・原山・佐藤・早野
久保田・児玉・兵庫・松本・松木・八田・伊地智監事・米田監事

I. 報 告

1. 会長報告

1) 10月29日（火） 令和6年度左京区地域保健推進協議会 於：左京区役所

2) 11月3日（日・祝） 京都府医師会創立77周年記念式典
於：リーガロイヤルホテル京都

3) その他

来訪、会合、他

1) 11月14日（木） 令和6年度左京区犯罪被害者支援連絡協議会通常総会
14時 於：左京区役所

2) 11月30日（土） 左京三師会 16時15分 於：京都ブライトンホテル

3) 12月1日（日） 2024年度（第6回）京大病院地域連携の集い
15時 於：芝蘭会館

4) 12月14日（土） 令和6年度京都市左京歯科医師会忘年会
18時 於：ホテルオークラ京都

5) 令和7年1月18日（土） 京都府医師会との懇談会
15時 於：ウェスティン都ホテル京都

6) 令和7年1月18日（土） 新年会 16時30分 於：ウェスティン都ホテル京都

7) 令和7年2月15日（土） 保険医協会との地区懇談会
14時30分 於：ウェスティン都ホテル京都

8) その他

2. 庶 務

1) 11月27日（水） 第7回地区庶務担当理事連絡協議会（ハイブリッド開催）
14時30分 於：京都府医師会館

2) 11月30日（土） 左京三師会 16時15分 於：京都ブライトンホテル

3) 令和7年1月18日（土） 京都府医師会との懇談会
15時 於：ウェスティン都ホテル京都

4) 令和7年1月18日（土） 新年会 16時30分 於：ウェスティン都ホテル京都

5) 令和7年2月15日（土） 保険医協会との地区懇談会
14時30分 於：ウェスティン都ホテル京都

6) その他

3. 地域医療

- 1) 10月28日(月) 左京区地域ケア連絡協議会・運営協議会 中止
- 2) 11月1日(金) 災害対策部会(ハイブリッド開催)
出席; 13名 於: 左京医師会会議室
- 3) 11月4日(月・振休) 左京区民ふれあいまつり2024
午前 塩見聡史先生、松下匡孝先生
青木信裕先生、八田 告先生
午後 塩見聡史先生、松下匡孝先生
細谷泰久先生、松本早苗先生
於: 左京区役所
- 4) 11月6日(水) 左京区事業者連絡協議会代表者会(Web開催)
塩見聡史先生、原山拓也先生
- 5) 11月17日(日) 令和6年度「歯のひろば」
原山拓也先生 11時~14時 於: 左京区役所
- 6) 11月19日(火) 認定審査会面談
松下匡孝先生 13時 於: 松下医院
- 7) 11月23日(土・祝) 第31回左京区民ふれあいウォーキング
松下匡孝先生 9時30分~15時30分 於: 宝ヶ池公園
- 8) 12月7日(土) イライラしない子育て講座
子育て支援団体「ママキラ☆プロジェクト」
代表 上川里枝氏 14時~15時30分 於: 左京区役所
- 9) 12月7日(土) 令和6年度第2回京都在宅医療戦略会議(ハイブリッド開催)
14時 於: 京都府医師会館
- 10) 12月14日(土) 高野地域包括支援センターとの交流会
15時 於: 高野中学校
- 11) 12月18日(水) 令和6年度第2回認知症総合支援事業アドバイザーボード(ハイブリッド開催)
西村伊三男先生 17時30分 於: 京都府医師会館
- 12) 京都市左京区在宅医療・介護連携支援センター
- 13) その他

4. 情報広報

- 1) 令和7年2月3日(月) 情報広報委員会(Web開催)
- 2) 医報
- 3) その他

5. 学 術

1) 11月16日（土）「コモンな皮膚疾患の診断と治療」

京都府立医科大学北部キャンパス長 加藤則人先生

14時30分

於：青蓮会館

2) 令和7年2月15日（土）

「漢方療法を通して再考する月経前症候群へのアプローチ（仮）」

京都大学医学部附属病院産科婦人科 助教 江川美保先生

16時

於：ウェスティン都ホテル京都

6. 社 保

7. 福 祉

8. 税 務

9. 会 計

10. そ の 他

II. 議 事

1) 磯辺内科医院（北白川1班・A'・磯辺貴代子先生）診療時間変更届について

⇒承認

2) 「脳卒中生活期かかりつけ医」に関するセミナーの後援・周知について

⇒承認

3) 12/13（金）第16回定例理事会会場（国際会館使用不可）について

⇒承認

4) 第34回認知症研究会の開催形式について

⇒承認

5) 地域連携懇談会について

⇒継続審議

6) その他

次回理事会：11月22日（金）

文責：八田、兎玉

個別相談の受付

一般社団法人左京医師会では、大谷会計事務所のご厚意により、税務・経営・資金等に関する無料個別相談を開催しています。公認会計士、税理士が1回30分程度でご相談に応じますので、希望される会員は事務局までお申し出ください。相談曜日は、第2月曜日14時から16時までとなります。

ただし、相談内容に関して左京医師会は一切関与しませんので会員の自己責任でお願いいたします。

一般社団法人左京医師会

呼吸器臨床症候・病歴から考える実地臨床

京都大学呼吸器内科 講師 佐藤 篤 靖 先生



咳と痰、呼吸困難は日常臨床で最も一般的な症状の一つであるが、様々な疾患を内包し、鑑別に難渋する事もしばしばである。胸部X線での鑑別においては中葉に注目する事が重要であり、右下肺野縦隔側に血管陰影と重なった陰影を呈する。治療においてはガイドラインではレスピラトリーキノロンも推奨にされているが、ペニシリン系と非定型肺炎を考慮する場合はマクロライド系抗生物質を加える。ステップアップには緑膿菌リスクを考える事が重要である。咳嗽は感染後咳嗽が診療のメインであり、上皮の剥離から咳感受性の亢進が上昇し、中脳延髄からの指令でアセチルコリンが神経節末端から分泌される。アセチルコリンはM2受容体から再吸収されるがウイルス感染や好酸球のMBPにより機能が低下し、これが咳嗽の遷延、過敏性の亢進に繋がる。したがって、中枢性鎮咳薬の積極的使用が推奨され、気道疾患などでは抗コリン薬吸入も必要である。上皮細胞は可塑性であり自然に軽快するので患者にはストーリーを伝える。

次に咳嗽が慢性に経過する場合は呼吸器、耳鼻科疾患、GERDなどを幅広く考える。季節性変化や外的刺激、咳嗽の発生部位、湿性か乾性か、強制呼気による肺部での聴診所見、胸部X線からある程度の鑑別を行う。副鼻腔気管支症候群や好酸球性副鼻腔炎などもみられ、安易に咳喘息という診断をしない事が重要である。

呼吸困難は症候学的には酸素の通り道を考える。上気道から下気道の閉塞有無、肺胞からの拡散障害の有無、肺血管の塞栓や圧、貧血など血液所見、心のポンプ機能などを考慮すれば幅広い鑑別を行う事が可能であり、病名にとらわれない思考プロセスを推奨する。代表的な疾患である慢性閉塞性肺疾患（COPD）は肺気腫として小葉中心性肺気腫が主であり、含気に比して相対的に気道が細い。さらに病変は末梢気道病変が重要であり、過膨張を解消するために末梢気道に到達するFine ParticleのLAMA/LABAが推奨される。さらに予後には心疾患が最も影響するので、心不全、心房細動などの不整脈は重要である。これらへ依存症を勘案しながら、或いは早期より注目しながら患者の長期的なフォローに関わることが望ましい。



抗 A β 抗体薬の登場による AD 診療 Update

京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻

教授 木下 彩 栄 先生



抗アミロイド β 治療薬レカネマブの登場により、認知症診療は大きな転換点を迎えている。

レカネマブは、アミロイド β のプロトフィブリルに結合することにより、ミクログリアによる貪食を促進し、アミロイド β を効果的に除去する。1 年半の治療継続により、ほぼアミロイド PET で陰性化するレベルまでアミロイドが減少するとされる。その結果、約 3 割ほどの認知機能低下および ADL 悪化に対する抑制効果があると報告されている。ただし、10パーセント強の患者でアミロイド関

連画像異常（ARIA）を認めることには注意しなければならない。レカネマブ導入病院で複数回 MRI を撮影して慎重に投与を進めていく必要がある。

導入病院での半年間の治療の後は、フォローアップ施設での治療を継続することが推奨される。その際には、導入病院とフォローアップ施設の間での密な連携が必要であり、医師同士のみならず、看看連携も行うことが望ましい。タイムラグのないようにスムーズに移行するためのノウハウを今後蓄積しなければならない。

この治療が開始になったことで、これまでの治療対象者より一段階早い時期の軽度認知障害の患者が対象になり、アルツハイマー病の超早期の症状（主観的認知機能低下～軽度認知障害）に目を向けることが必要になってきた。早期の方の治療のタイミングを逃さないようにするためには、社会に対する啓発が一層重要になる。また適応がないと判断された方のフォローも含めた新たな診断後支援が求められている。

今後、保険収載されたバイオマーカー検査を行うことが増えてくるであろう。それにもなって、診断・治療面での発展のみならず、アミロイド β とタウとの関係性といったアルツハイマー病のさらなる病態解明にもつながることが想定される。ひいては、非アルツハイマー型の認知症についても、研究が進展するであろうことが期待される。

左京区民ふれあいまつり 2024

修学院第一班 八 田 告

左京区民ふれあいまつりが、11月4日（月・祝）の秋晴れの日で開催されました。昨年に引き続いて左京区役所を全面使用しての開催で、多くの区民の皆様が来館されていました。左京医師会から前半は、青木信裕先生、八田 告が担当、後半は、細谷泰久先生、松本早苗先生が担当されました。塩見聡史会長も自らお手伝い頂き、松下副会長は終日居て下さって、他団体との挨拶や私達の動きなどについて色々とおアドバイスを頂きました。途中から原山拓也先生も応援に駆けつけて下さいました。



【写真1】ふれあいまつりポスター

本当に多くの団体がコラボして、区民とのふれあいを演出されていることがわかります。



【写真2】オープニングセレモニー

子供達の歌や踊りから始まり、京都市長や多くの来賓が来館されていました。

左京医師会は、京都府看護協会の隣に健康相談コーナーのブースを構え、AEDを併設しました。また救護が必要な方の対応を担当しましたが、幸い救護室を必要とする方はいらっしゃいませんでした。会場には、高齢者の方も多かったですが、それ以上に目立ったのは、子供連れのご家族でした。子供たちは、各ブースでもらった風船やお菓子を手にいっぱいもって、我々のブースにも来てくれました。我々の健康相談コーナーの横には、協賛の大塚食品提供のマイサイズという塩分1gの31種類のスパイスを利かせたレトルトカレーと出汁の利いた親子丼を並べました。たった1分の電子レンジ加熱で食べられる便利な商品です。昨年のふれあいまつりは、9月下旬でまだ暑い時期で、OS-1提供が喜ばれたのですが、今年は11月開催ということで初めて減塩商品の無償提供となりました。大塚食品は元々、ボンカレーが有名な会社ですが、業者の方曰く、味に自信あり！だそうです。塩分1gのカレーや親子丼、私も時折、利用しますが、塩分1gとはとても思えない

しっかりとした味です。また大塚食品は、能登地震の際に、1,000食を無償提供して社会貢献もされている会社です。偶然、私達の隣のブースは、日本赤十字社京都府支部の方達で、災害用食品として興味深そうに質問されていました。美味しそうなレトルト食品に興味を持って頂いた来場者に、「では、まず血圧を計ってきてください」と看護協会のブースに誘導します。そして血圧値に対して私達が、生活習慣などについてアドバイスをして、どちらかのマイサイズをプレゼントするという形で進めたところ、大変流れが良く、お子さん連れの若いご夫婦も血圧を測定して頂きました。

「薬を飲んでいるけど、今日はいつもより高いわー」とか、血圧測定を勧めても、「高いのが分かっているからやめておく」、という方もおられ、区民の皆様の反応は様々でした。



【写真3】ブースを設置して、来場者を待つ
青木信裕先生と八田 告



【写真4】大塚食品のマイサイズという減塩レトルト食品、合計400食を無償提供して頂きました。



【写真5】京都府看護協会の方達が、一人一人丁寧に血圧を測定され声掛けされていました。



【写真6】看護協会が実施している血圧測定に誘導する青木信裕先生



【写真7】午前の記念撮影

左より八田 告、松下匡孝先生、塩見聡史先生、青木信裕先生
早くからブースの設営をしてくださった先生方、ありがとうございました。

左京区民ふれあいまつりは、私が当初想像していた以上に大きなイベントで、高齢者関係のブースでは、レビー小体型認知症の方が感じておられる幻視のVR体験コーナーもあり、私も体験し、大変貴重な経験をしました。裏の駐車場には沢山のキッチンカーが並び、フードコートになっていました。大勢の子供連れで大賑わいでした。食べ物以外にもブックカーならぬ移動図書館をだしている団体も見られました。またTAX君のような着ぐるみをきて税金について学ぶコーナーもあり、健康福祉だけでなく非常に広い視野での祭りであると実感しました。

また令和6年12月7日（土）に左京区役所と共催する公開講座「イライラしない子育て講座」の講師を務める子育て支援団体「ママキラ☆プロジェクト」もインドカレーを販売され、早々に完売していました。公開講座のパンフレットもまつり当日に間に合い、できたてほやほやのパンフレットを興味深げに手に取ってくれるお母さん方がおられ、担当の松本早苗先生も喜んでおられました。



【写真8】普段の駐車場スペースに子供が大好きな消防車やパトカーが並んでいました。



【写真9】フードコートは、子連れの家族で大賑わいでした。



【写真10】子育て支援団体「ママキラ☆プロジェクト」代表 上川里枝氏も自ら店頭に立っておられました。美味しそうなカレーは早々に完売していました。

今回、初めてのふれあいまつりに参加、出務させて頂き、大変貴重な経験をさせて頂きました。出務された先生方、大変お疲れ様でした。



【写真11】午前、午後メンバーとの記念撮影

左前列より細谷泰久先生、塩見聡史先生、原山拓也先生

左後列より松下匡孝先生、八田 告、松本早苗先生、青木信裕先生

左京医師会 講演会等の予定

(令和7年2月～4月)

開催日と場所は変更になる場合があります。
開催時間など詳細が決まりましたら医報などにて告知致します。

◆左京学術講演会

と き 2月15日(土) 16時

ところ ウェスティン都ホテル京都

「漢方療法を通して再考する月経前症候群へのアプローチ(仮)」

京都大学大学院医学研究科婦人科学産科学

助教 江川美保先生

◆左京学術講演会

と き 3月15日(土) 16時

ところ ウェスティン都ホテル京都

「睡眠時無呼吸関連(仮)」

京都大学大学院医学研究科呼吸管理睡眠制御学講座

准教授 佐藤 晋先生

◆認知症研究会

と き 4月19日(土) 14時30分

ところ ウェスティン都ホテル京都

演題・講師未定

◆左京学術講演会

と き 4月19日(土) 16時

ところ ウェスティン都ホテル京都

「神経内科関連(仮)」

京都大学大学院医学研究科臨床神経学

講師 眞木崇州先生



「疏水の水音でフィナーレを迎えた幕末維新の京都交響曲」

第十三話 「京都帝国大学に続いて立命館大学が開設され

学生の街・京都となった」(その3)

北白川2班 山下 敬 司

【同志社大学医学部は左京区聖護院の左京税務署付近に開設される予定だった】

同志社は、左京区聖護院にあった彦根藩京屋敷跡を医学部用地として先行取得していましたが、裏と覚馬の死去後に経営難となるなかで手放したそうです。彦根藩京屋敷は幕末に鴨東地区の越前藩京屋敷（現在は平安神宮と武道センター）と聖護院門跡の間に造られた1万坪程度の広さの新しい彦根藩邸で、中京区木屋町通六角通西入ル（山崎橋の西詰に記念碑あり）にそれ以前からあった彦根藩邸とは別物です（図77）。彦根藩京屋敷跡には現在では左京税務署や吉川病院などがあり、京都大学医学部と同附属病院とは徒歩で10分以内の距離にあります。



図77：明治2年の京都市地図（京都市史・地図編に収載、国立国会図書館デジタルコレクションから）の鴨川東岸部（京都市左京区の南部）に原田良子氏と新出高久氏の共同作成による「幕末に鴨川以東に急造された諸藩屋敷位置推定図」を参考に筆者が大名屋敷を書き込んだもの。最も大きいものは原田良子氏と伊東宗裕氏の共同研究でその場所と広さ（約55,000坪）が特定された薩摩藩岡崎屋敷で、現在の岡崎公園の二条通以北と平安神宮の南側部分に相当する。なお、山本覚馬が幽閉され、現在の同志社大学の本学がある元薩摩藩二本松藩邸とは全く別物である。次いで大きいのは49,000坪の尾張藩京屋敷で現在は京都大学本部構内となっている。

図77では彦根藩京屋敷の西側には熊野神社があり、両者は接しており同じくらいの広さですが、その後に市電を通せるように幅の広い丸太町通と東大路ができた際に熊野神社は大きく社域を削られて現在に至っています。現在の熊野神社の境内に立つと、立派な社殿の割に境内が狭小なのに違和感を覚えますが、そのような歴史的な背景があったからなのです（図98）。



図98：熊野神社の境内と本殿で、左側は丸太町通から見たもので、右側はその入り口から見たもの（筆者撮影）。2枚の写真から、立派な本殿がある一方で境内はかなり狭いことがお分かり頂けると思う。入り口には神社の由来が書かれた立て札があり、そこには丸太町通と東大路が市電を通すために拡幅された際に社域を削られて現在の社域となったと書かれている。

明治期には同じようなことが他の寺社でも見られ、八坂神社は明治維新後に円山公園側の社域を大きく減らされ、雙林寺は円山音楽堂側の寺域を大きく削られて今では狭小な寺域しかありません。その一方で、円山公園界隈では浄土宗総本山の知恩院や浄土真宗総本山である東本願寺系の大谷祖廟は広大な寺域を維持しています。ちょっと不公平な気がしますが、浄土宗や浄土真宗は全国に大勢の信者を有する大宗教教団であり、神仏分離と寺社からの境内没収を推し進めた明治政府も配慮せざるを得なかったのかもしれない。

なお、第三高等学校の京都移転の際の費用捻出のために廃止された京都府中学校のピンチを救ったのは、その受け皿の私立中学校を設置した東本願寺でした。東本願寺がその時に京都府や知事だった北垣国道と良好な関係だったことが理由とは思いますが、そのような経緯もあったからなのかもしれませんね。

【早すぎた襄の死により幻となってしまった同志社大学医学部】

もし、左京区聖護院にあった彦根藩京屋敷跡に同志社大学医学部が開設されていたら、左京区の聖護院地区では京都大学医学部と同志社大学医学部が至近距離で対峙していたことでしょう。そうなってれば、聖護院の交差点に立てば、北側を見れば京都大学医学部と同附属病院が林立し、東を見れば同志社大学医学部と同附属病院が軒を連ねていた訳で、その光景をぜひ見てみたかったと筆者は思っています。

襄があと10年、いや5年長生きしていれば、そうなった可能性が大きいと筆者は考えています。早すぎた襄の死は、同志社のみならず現在の鴨東地区の現在のありようにも大き

な影響を与えました。

【襄の死去後に覚馬が設立したハリス理化学校と同志社政法学校のその後は？】

明治22年（1889年）11月に大学設立のための募金活動中に襄は前橋で倒れ、静養先の神奈川県大磯の旅館で明治23年（1890年）1月に死去しました。その後は山本覚馬が襄の死を受けて揺れ動く同志社の臨時総長に就任して、乗り切っています。

しかし襄の死去前に開設された同志社病院と京都看病婦学校の運営は、襄の死去後にアメリカン・ボードとの関係が上手くいかなくなって資金不足となり、前者は廃止され後者は売却されました。さらに医学部用地として先行取得していた彦根藩京屋敷跡も売却されました。

それでは覚馬が臨時総長となった直後に設立されたハリス理化学校と同志社政法学校は、その後はどうなったのでしょうか。

ハリス理化学校は、アメリカの実業家のハリス氏が襄の科学教育への熱意に賛同し、襄の生前に設立資金として10万ドル（建設費や運営費などの総額）を拠出して設立されました。こんなところにも人々を引きつける襄のカリスマ性が垣間見えます。なお襄がアーモスト大学で得た学位は理学士であり、襄は理化学にも精通していました。

襄が死去した時に既に開校の運びとなっていたハリス理化学校は、襄が亡くなったその年に開校され、その後に薬学科も開設されるなど、さらなる発展の兆しがありました。しかしハリス氏との関係は次第に上手くいかなくなって運営費の援助は中止され、運営方針を巡る首脳陣の対立もあって次第に運営が行き詰まり、京都帝国大学が発足した明治30年（1897年）に廃校となりましたが、それまでに22名の卒業生を世に送り出しています。同校は同志社大学理工学部の大元とされていますが、連綿として継続されたわけではありませんでした。

同志社政法学校も襄の生前に計画されており、襄が死去した翌年の覚馬が臨時総長の時に開校され、現在の同志社法学部・経済学部の大元とされています。そこでは東京帝国大学の向こうを張る高レベルの教育が意識されていましたが、学生が十分には集まらず、アメリカン・ボードとの関係もこじれて資金が入らなくなり、明治37年（1904年）の同志社専門学校開校時に廃止されています。

このように襄の死と相前後して産声を上げた同志社のハイレベルの理科・文科の高等教育は、その勢いを継続できず尻すぼみとなり、全て消滅してしまいました。

【襄が医学部設置準備とハリス理化学校・同志社政法学校開校を急いだ訳は？】

生前の襄は、なぜ医学部設置への準備を進める中で、ハリス理化学校も同志社政法学校も同時期に開校するというような冒険とも言える飛躍へのステップを急いだのでしょうか。

「現代語で読む新島襄」（同志社・「現代語で読む新島襄」編集委員会編）によると、新島襄からハリス理化学校の教頭を務めることになる下村孝太郎へ宛てた手紙に「ハリス理化学校の設立は、第三高等学校に遅れを取らないようにするため」と書かれています。そして、その手紙には「森文部大臣と面会した折に『同志社を高等中学校にしてもよいと思っており、専門科を設置し力量があれば（卒業生に）大学卒の資格である学士を与えても良い』と言われた」と書かれています。そして森の影響力のためもあってか、井上馨や大隈重信や陸奥宗光らの政府要人や渋沢栄一や原六郎らの財界人も同志社を応援するようになっていました。

以上のようなことから、森有礼は京都の地で私学の同志社と官立の第三高等中学校を張り合わせ、京都ひいては関西地区の高等教育のレベルを一気にアップさせ、関東に聳え立つ官立東京大学の対極を関西に打ち立てることにより日本の高等教育のレベルを一気に底上げすることを狙っていたと筆者は考えています。

第三高等中学校の校長の折田彦市もその大学化を目論んでおり、襄はそれゆえに第三高等中学校を強力なライバルと認識し、それに対抗する目的もあって医学部開設準備と並行してハリス理化学校と同志社政法学校の開校準備を同時進行で急いだのではないのでしょうか。このため、この頃の襄の仕事量はいやがおうにも激増していたことでしょう。

健康を害していた襄は（心臓疾患だったといわれている）、彼の理想の実現のために必要以上に走り急いでいたような気がしてならず、それが襄の死期を早めた可能性があるのではないかと筆者は密かに思っています。

【森文相に次ぐ襄の死で同志社を全国二番目の大学にするとの夢は潰えた】

明治22年（1889年）に森が兇徒に暗殺され、そのことは襄と彦市に衝撃をもたらしました。襄の理解者であり庇護者でもあった森の突然の訃報は襄の背中に重くのしかかり、その翌年の襄の病死に少なからず影響した可能性があったのではないのでしょうか。襄の死によって、東京大学に次ぐ第二の大学設立を巡る同志社と第三高等中学校とのダービーレースで、同志社を一気に先頭に押し上げて先にゴールするという襄の壮大なる夢は潰えました。

そして襄の死後の第三高等中学校ですが、その後に第三高等学校となり、大学昇格を強く意識していた彦市が第三高等学校に予科をおかずに専門学部を設置するという、ある意味で勇み足ともいうべき独自路線を突っ走りました。第三高等学校とは別枠ながらも、その延長線上に創立されたと言ってもあながち間違いではない京都帝国大学の設立が決まった時に、彦市はきっと森有礼とかつて同志であった新島襄の墓前にいち早く報告したのではないのでしょうか。

【下村孝太郎は北垣国道に見込まれた化学者で、妻は国道の三女（養女）だった】

ハリス理化学学校を主宰した下村孝太郎は熊本バンドの一人で、優秀な化学者でした。孝太郎は熊本洋学校を経て同志社英学校に入り、その後に渡米してウースター工科大、ジョンズ・ホプキンス大学大学院で化学を学んでいました。その時に新島 襄から新設のハリス理化学学校の教頭として同校を主宰することを要請され日本へ帰国しています。そしてハリス理化学学校の閉校後は日本の化学工業界へ転じ、その発展に多大なる貢献をしています（図99）。

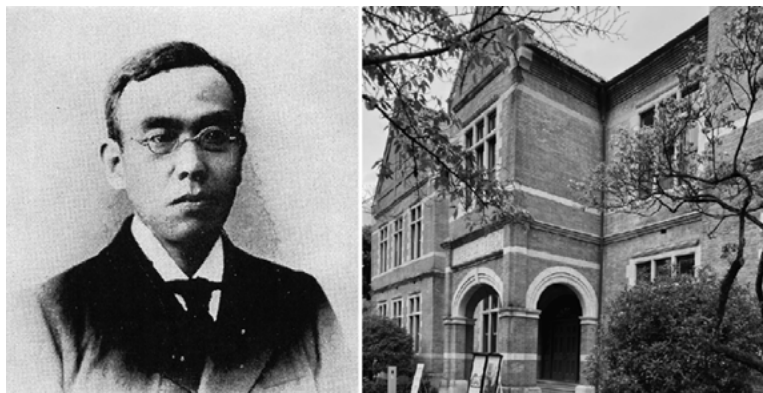


図99：下村孝太郎（左側、同志社九十年小史、同志社社史史料編集所、昭和40年[1965年]刊行から）とハリス理化学学校（右側、筆者撮影）。下村孝太郎が主宰したハリス理化学学校の建物は、理化学学校が閉鎖されてからもそのまま使われ、現在は記念館となり同志社の歴史の展示などに使われている。この建物を含めて同志社では明治時代の建物が多く保存されている。

孝太郎の妻は京都府第三代知事・北垣国道の三女（養女）であり、孝太郎は国道人脈であると同時に国道から活躍を期待されていたことがわかります。そして孝太郎が主宰したハリス理化学学校の発展を国道が望んでいたことも間違いないでしょう。ちなみに国道の長女は琵琶湖疏水で活躍した田辺朔郎に嫁いでいます。

【北垣国道の野望は襄の死で一度頓挫するも、京都帝大の創立で完結した】

襄が早世していなかったならば、同志社は従来の英文科のみならず、医学部・理工学部・法学部を備えた堂々たる東京帝国大学に匹敵する学問の府として京都帝国大学開学の前に華々しくデビューしていた可能性が高く、京都帝国大学開学後の京都では最高レベルの官立と私学の大学が相まみえたことでしょう。そしてそうになっていたならば、現在の京都にも少なからず影響があったと筆者は考えています。

このように、北垣国道の京都改造計画は、第一琵琶湖疏水を完成させ、第三高等学校を大阪から京都へ引っ張り込むのみでは終わらず、同志社と下村孝太郎へ肩入れして同志社を早期に東京帝国大学に次ぐ学問の府へ押し上げることを狙っていました。国道の野

望、止まるところを知らず、ですね。

同志社を大学化させ京都を東京と並び立つ学問の府に押し上げる、という国道の野望は裏の早すぎる死で実現しなかったものの、琵琶湖疏水と第三高等中学校は京都の発展の両輪となりました。そして国道の京都府知事在任中に完結しなかった国道の野望は、明治30年（1897年）の京都帝国大学の創立で少し遅れて日の目を見ることとなりました。

【裏の死による危機を乗り越えて、同志社大学が裏の死の22年後に設立された】

裏も覚馬もいなくなった同志社は、指導者の路線を巡る対立もあって経営的に困難な時期を迎えますが、裏の遺志は教え子らによって引き継がれて危機を乗り越え、裏の死後22年たった明治45年（1912年）に晴れて同志社大学（予科・神学部・政治経済部・英文科）と同志社女学校専門学部が開校しました。

現在の関西にある大学では、官学の雄は京都大学で、私学の雄は同志社大学と立命館大学と言ってもあながち間違いではないと思います（他の大学出身の皆様すみません、お気を悪くされないで下さいね）。そして、その基礎は同志社英学校と第三高等中学校が明治中期に好むと好まざるを問わず互いに影響し合いながら京都で発展し、京都帝国大学の発足を契機として立命館大学が生まれたことで形作られたと言っても過言ではないでしょう。

【裏の遺志を受け継ぐ人々により21世紀に同志社大学に医療系学部が誕生】

新島 裏の遺志は熊本バンドの人々を中心とする卒業生や教職員によって受け継がれ、さらに政財界からの支援を受け明治45年（1912年）に専門学校令による同志社大学（神学部・政治経済部・英文科）が設立されました。そして大正9年（1920年）に西日本の私立大学では初めての大学令に基づく旧制大学となり、文学部・法学部および予科と大学院が開設されました。

そして時が流れ平成16年（2004年）に、同志社大学では工学部に人間環境科学、運動機能・生理学などの教育課程を持つ環境システム学科を設置されました。同志社女子大学では、平成17年（2005年）に薬学部が設置され、平成27年（2015年）に看護学部が設置されました。

21世紀に入ってからの同志社大学や同志社女子大学での相次ぐ医学や医療に関する新学部や学科の設置により、ようやく裏の夢の一部が叶えられたのではないのでしょうか。

【京都を特色づける仏教系大学（龍谷大学、大谷大学、佛教大学、花園大学）】

京都の大学を語るなら忘れてはならないのは仏教系大学と芸術系大学ですが、その萌芽は明治時代にありました。まず仏教系大学から見ていきますが、仏教系大学では、浄土真

宗系と浄土宗系と臨済宗系の三つの系列があります。

浄土真宗の西本願寺には寛永16年（1639年）創立の学寮があり、また東本願寺にも寛文5年（1665年）創立の学寮がありました。明治大正の学制改革を経て大正11年（1922年）に西本願寺学寮は龍谷大学となり、戦後は新制大学となりました。東本願寺学寮は大学令による大谷大学となり、戦後は新制大学となりました。

浄土宗では、江戸に設立された学問所を起源とする勸学院が知恩院に置かれ、明治大正の学制改革を経て昭和24年（1949年）に佛教大学となりました。

臨済宗では、妙心寺の般若林が改編や移転を経て、昭和24年に花園大学となっています。

【京都では芸術系の専門学校系大学も早くから開学している】

また明治13年（1880年）には京都画壇の協力のもと、日本初の公立絵画学校として京都府画学校が設立されました。同校は市立美術工芸学校となり、明治42年（1909年）にその隣接地に姉妹校として市立絵画専門学校が設立され、著名な画家を多く輩出しました。この絵画専門学校は戦後、新制大学として市立美術大学となった後に昭和44年（1969年）には市立音楽短期大学と合併して京都市立芸術大学となり現在にいたっています。

また明治32年（1899年）に設立された京都蚕業講習所と明治35年（1902）年に設立の京都高等工藝学校を前身とする京都工芸繊維大学も忘れてはならないでしょう。設立は京都府画学校より約20年近く遅れますが、地元京都の地場産業である織物業や染色業などの和装業界の底上げを期待して、京都の人々が希望し続けた結果できたそうです。そして昭和24年（1949年）に新制大学として設置され、大学院もその後設置され現在に至っています。

【北白川にある京都造形芸術大学の京都芸術大学への名称変更を巡る波紋】

北白川にある京都造形芸術大学（昭和52年〔1977年〕に発足した京都芸術短期大学が母体でその後4年制大学となった）は、令和元年（2019年）に開学30年目となる令和2年（2020年）から大学名を京都芸術大学へ変更することを発表したため、京都市立芸術大学は「名称が似通っており混乱をきたす」として大阪地方裁判所に「京都芸術大学」の名称使用差止めを求めて提訴し、耳目を集めました。

しかし大阪地裁では京都市立芸術大学側が敗訴し、大阪高裁での控訴審では、通称又は略称として「京都芸大」「京芸」の使用を認めない条件で京都芸術大学の校名を認める、という内容で和解しました。

京都芸術大学と校名変更で争った京都市立芸術大学は、その後に京都駅の北東側にある崇仁地区の再開発地へ移転し、新天地での新たな発展の歩みを始めています。その開発地の東端には、京都舎密局跡に長らく校舎を構えていた京都市立銅駝美術工芸高校が京都市立美術工芸高校へ改名して同じ頃に移転しており、大学生と高校生たちが、地域に伝わってきた革製品などの加工技術を受け継ぐ人々とコラボして新たな芸術作品を生み出す機運

が生まれているそうです。その校舎前に立つと、芸術大学らしい近代的な意匠に満ちた校舎が塩小路通に建ち並び、付近が芸術の新しい一大拠点となったことが体感できます（図100）。



図100：京都駅の北東側の崇仁地区の再開発地に移転した京都市立芸術大学（左側）と京都市立美術工芸高等学校（右側）（筆者撮影）。京都市立芸術大学は230億円をかけて建設され、間近に移転した京都市立美術工芸高等学校と共に一大芸術ゾーンを形成している。

新しい校名を勝ち取った京都芸術大学は、北白川瓜生山麓の白川通沿道に新しい拠点を相次いでオープンし、北白川上終町バス停付近の白川通はいつも若々しい学生さんたちで溢れています。バス停名称の「上終町」は、ずっと以前にはここで白川通が終わっていたことによるものですが、今やここが起点と言ってもおかしくないような活況を呈しています（図101）。

京都芸術大学の学生数は令和6年（2024年）5月1日現在で23,898人（通信教育課程の16,906名を含む）に達しており、年々増加しています。京都芸術大学への校名変更は、大学への入学を考慮している人々への訴求力や対外交流の際のインパクトを高めることを目指した動きであったと考えて間違いないでしょう。



図101：左京区北白川瓜生山町にある京都芸術大学の瓜生山キャンパス。この建物を皮切りとして白川通沿いに相次いで校舎を完成させ、学生数もそれに比例して増加しており、その動きは校名変更後に更に加速しているように思われる。そして以前は朝夕でも閑散としていた北白川上終町のバス停は、今では朝夕は大勢の学生さんたちで賑わっている。

【統計資料を見ると京都市が学生の街であることが一目瞭然！】

京都市は学生の街であると以前から言われており、筆者も今までにそれを疑ったことはありません。しかしなぜ京都市が学生の街なのかを客観的な統計資料で確認したことはなく、なんとなく多分そうなんだろうと納得してきた次第です。

しかし本稿では、筆者の漠然とした記憶や想像に頼ることなく、できうる限り歴史的史料や文献や報道資料などを調べて客観的な裏付けをとることを旨としてきました。そこで今回も統計資料を探してみたところ、平成29年（2017年）の主な政令指定都市の大学数と学生数と人口に対する学生数の割合が網羅された表がみつかりましたので、その一部を抜粋してご提示します（表5）。

《表5》 平成29年度（2017年）の大学数と学生数と人口の政令指定都市間の比較表

21政令指定都市	大学・大学院・短期大学の校数	学生数	全人口	全人口に占める大学生の割合と順位	
京都市	39校	147,034人	1,473,110人	10.0%	1位
東京23区	122校	545,658人	9,443,321人	5.8%	2位
福岡市	21校	77,044人	1,562,568人	4.9%	3位
神戸市	24校	71,143人	1,534,061人	4.6%	4位
仙台市	13校	49,680人	1,084,616人	4.6%	4位
名古屋市	23校	104,381人	2,309,753人	4.5%	6位
岡山市	11校	31,528人	708,555人	4.4%	7位
~~~~	~~~~	~~~~	~~~~	~~~~	~~~~
大阪市	19校	34,529人	2,709,167人	1.3%	19位
さいたま市	5校	16,527人	1,287,188人	1.3%	19位
北九州市	13校	22,685人	1,961,473人	1.2%	21位

* 学校数・学生数は平成29年度学校基本調査（平成29年5月1日現在）からの抜粋。

* 人口は平成29年5月1日現在の推計人口。

* 京都市と大阪市の欄は、比較のために太字で表示している。

表5を見て頂くと、京都市では全人口の約10%が大学生であり、この割合は他の政令指定都市の中では抜きん出て第1位となっていることがお分かりいただけると思います。京都市の大学生の多くは市外からの転入者と思われ、大学生以外にも多くの教職員やその家族がおり、合わせれば全人口の10数%は大学関係者と考えてよく、京都市の活力の源となり地域経済を支えていることと思われます。

かくいう筆者も元は京都人ではなく伊勢の国の出身であり、京都にある大学へ入学したというご縁により伊勢から京都へ来て、その後に越前の国へ一時引っ越しましたが、伊勢ではなく出身校のお膝元の京都へ戻り、その後はずっと京都市左京区に住み続けています。

## 【大阪市の学生の人口割合は政令指定都市の下位に甘んじ京都の8分の1！】

第三高等中学校に京都へ逃げられて帝国大学の発足が京都より34年も遅れた大阪市の学生数は京都市の約4分の1であり、全人口に占める学生数の割合は京都市の約8分の1に過ぎず、政令指定都市の中での順位も下位に甘んじています（表5）。

もし同志社英学校が大阪にできて、京都帝国大学が大阪に開学されていたら、この割合は完全に逆転していたのではないのでしょうか。そして皆様も筆者も京都市にはいなかったのではないのでしょうか。

## 【偉大なる先達から頂いたご縁に感謝】

皆様と筆者が左京医報の紙面を介してお会いできるのも、北垣国道と山本覚馬と新島襄と折田彦市と中川小十郎らの偉大なる先達のお陰であると言っても過言ではなく、彼らのお陰で頂戴したこのご縁に感謝申し上げる次第です。

完

## 【続編のお知らせ】

長らくのご愛読、ありがとうございました。

次回からは本作の続編である「第二疏水の水音が奏でる続・幕末維新の京都交響曲」が始まりますので、またお読みくださいね。



## 七 仏 七 界

### 西国四十九薬師霊場巡りの旅 その伍 前編

#### 「 璃 界 」

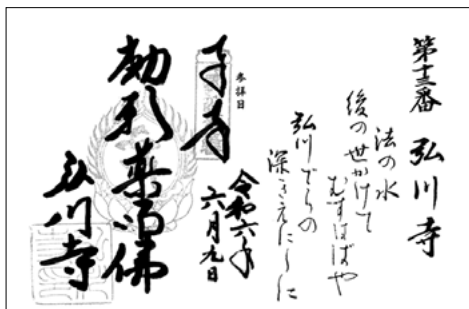
上高野班 松 下 匡 孝

2024年6月9日

毎週土曜日は夫婦で缶ビール350mlを1本空ける。追加で酎ハイも1本空けてしまうと、元々下戸なので眠くて仕方ない。22時前には布団に入って爆睡状態になったらしい。朝4時に目が覚めたが、幸せの二度寝に入る。それでも6時半頃に目が覚めた。昨夜妻が「明日は行っておいでよ。」とお許しが出ていたので、こっそり起きて支度をして6時40分に家を出た。雨が降っている。7時26分三条発の京阪特急に乗る予定だから、どこかで朝食を食べる時間はある。が、日曜の早朝はどの店も7時開店の店ばかりだ。結局コンビニでサンドイッチを買って三条駅のコンコースで食べる羽目になってしまう。「昼は飯が食いたい!」と強く願い、京阪特急に乗車。京橋、天王寺、阿部野橋を経由して近鉄富田林駅に着いたのは9時14分、遠い。富田林駅からは大阪府4市町コミバスに乗車し、かなん桜小学校前で降りた。河南町さくら坂の辺りは、山や田畑の中に最近できた新興住宅地のようだ。雨の降るなか坂を下り、弘川集落の坂道を上っていくと弘川寺の庫裏門に着いた。

#### 第十三番札所 真言宗 醍醐派 弘川寺

9時57分、弘川寺境内に入る。このお寺は平安時代末期の歌人としても知られる西行法師が入寂（死去）されたお寺である。お参りの方はどなたもおられない。境内を通り過ぎ、お参り前に駐車場にあるトイレをお借りする。用を済ませてすっきりとした気持ちで本堂へ。本堂の障子は閉まっているが開けることができる。いつも悩むのだが、勝手に入っていいものなんだろうか？悩んだあげく、少し障子を開けて外に立ったまま読経をする。庫裏門を入ったところにある納経所でバインダーを見せて御宝印をいただいた。「この前総会がありまして、9月から納経代が500円に値上がりすることが決まりましたから、9月までに廻って

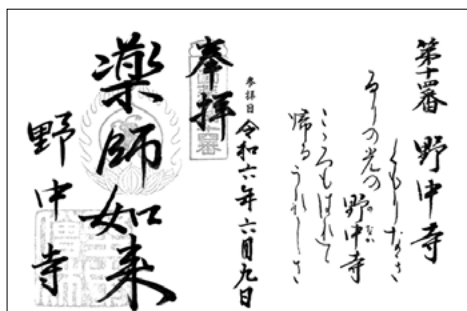


下さい。」と教えていただいたが、その期日までには結願できそうにはない。

富田林駅へ戻るため坂を上って、かなん桜小学校前のバス停に戻った。コミバスは1時間に1本しかない。平日、土日の区別のない時刻表が1枚貼られている。バスが来るまで30分近くあるが、違う系統のバスが止まる3つ先のバス停まではかなりの距離を歩かねばならないので、おとなしくバスを待つことにした。幸い歩道全部を被うほどの屋根があるし、雨に濡れずに済んでいる木製のベンチもある。持参した文庫本を読んで時間を潰していると、ほぼ時間通り10時52分にバスが来た。富田林駅11時29分発の近鉄準急に乗車し、11時52分に藤井寺駅に到着。藤井寺駅からは近鉄バスに乗り換え、野中寺まで行く予定だ。藤井寺駅にはなんと“松屋”があった。「昼食はここで食べるぞ!」と意気込むが、バスは定刻か遅れてしか来ないから、お参りを急いで昼食時間を確保するしかない。

#### 第十四番札所 高野山真言宗 青龍山 野中寺

野々上バス停から野中寺はすぐだった。美しい朱塗りの仁王門をくぐると正面に本堂がある。こちら本堂は閉まっていて、30cm四方の格子から中をのぞいてみるが、暗くて真下の賽銭箱しか見えない。尤も本尊の薬師如来像は秘仏だそうだから見ることはできないのだけれど。境内にはどなたもおられず、声を出して読経を始めた。納経所でバインダーを見せて御宝印をいただく。境内には塔が建っていた礎石のみが残されていた。



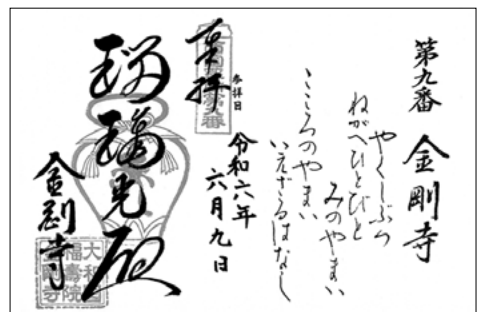
さて12時15分。本日最後にお参りする金剛寺の最寄り駅は JR 五条駅で、12時57分藤井寺駅発の近鉄準急に乗車したい。計画より速いバスに乗れば、“松屋”で昼食を食べることができるだろう。なんとかできるかも知れないと思うときは本能的に目的地に少しでも近付こうとするのだろう、野々上バス停から藤井寺駅に向かってバス通りを歩き出す。前回のお参りが終わったあと、思いつきで計画を変更するのはやめようと決めたばかりだが…。河南では停留所の間隔が長かったから諦めたが、ひょっとしたら違う系統のバスに乗れるかも知れない。食への執着は恐ろしい。バス通りを歩いて行くと、次の藤井寺南住宅前のバス停で複数人がバスを待っているのが見えた。ということは、もうすぐバスが来るはずだ。急いでバス停に行くと、5分後に藤井寺駅行のバスが来るみたいだ。なんとラッキーなことに12時26分に藤井寺駅に戻ってくることができた。予定の電車まで30分もある。迷わず“松屋”に突入。牛丼の店と思っていたが、“松のや”というとんかつ屋さんだそうで、思いもかけず好物のとんかつを食べることができる。幸せを感じながらコースかつ定食590円をオーダー。なかなか美味、美味。余裕で予定の電車に乗ることができた。

ここからは乗り換えが多い。近鉄藤井寺駅から古市駅を経由して、何度も来た橿原神宮前駅で吉野線に乗り換え、さらに吉野口駅で JR に乗り換え五条駅に着いたのは14時過ぎ

だった。金剛寺までは徒歩20分。雨は強くはないが降り続けている。スマホの地図アプリを起動し道順を確認し、案内通りに歩いて行くと商店街から路地を下って奈良ではおなじみ国道24号線に出た。なかなか細かい道を案内してくれる。こんな細かい道が表示されるのに、なんで木津川市の浄瑠璃寺へ行くとき三叉路で迷うことになったのだろう。吉野川に架かる大川橋を渡る。吉野川は奈良県を流れている間は吉野川、県境を越え和歌山県では紀の川という。川幅が広く橋梁の長さは250mもある。川を渡りきると「←金剛寺」の案内看板があった。住宅街を通してなだらかな坂道を上がると金剛寺駐車場が見えた。

## 第九番札所 高野山真言宗 小松山 福壽院 金剛寺

予定通りの14時22分、金剛寺山門をくぐる。本堂へ通じる庭の門は閉められており、拝観料300円を支払ってからどこへ行けばいいのか戸惑っていると、「こちらに入ってください。」と本堂の中に招き入れていただいた。本堂には薬師如来座像が目の前におられ、住職にお寺の成り立ちをご説明していただいた。「じゃ、これ流しときますね。」と仏像の説明やお寺の歴史を解説した音声が出る。薬師如来の前に座ってしばらく聞いていたが、なかなか終わらない。本堂の説明から隣の護摩堂の説明に移ったので、我慢できず読経を始める。お参りが終わって護摩堂、観音堂を見学し庫裏に戻って御宝印をいただいた。



金剛寺を出て来た道に戻る。帰りは国道24号線をまっすぐ東へ進み、コンビニの前を左へ曲がって JR 五条駅へ。五条といえば柿の葉寿司、ということで駅の待合には柿の葉すしが販売されている。土産に鯛、鯖、鮭の取り合わせ7個入りを購入した。15時30分発の JR に乗車し、近鉄を乗り継ぎ橿原神宮前駅に到着。ここから特急に乗りかえるか、急行のまま京都まで帰るか…。時間も早いし、のんびり帰るのもいいだろう、このまま急行に乗って京都まで帰ることにした。ところが高の原駅手前で「竹田駅付近で事故のため、この列車は行き先の変更や運転を中止する場合がございます。」とアナウンスが流れる。またか…。先月も京都駅の不審物騒ぎのため JR 琵琶湖線草津駅で1時間以上足止めをくらったばかりだ。しばらく走ると再度「この列車は新祝園駅で運転を終了いたします。JR で振り替え輸送を行っています。」とアナウンス。JR 祝園駅が連結しているが、京都へはどう振り替え輸送をしているのかなんのお知らせもない。JR 祝園駅から木津駅に行って奈良線に乗るか、京橋行に乗車して JR 三山木駅から奈良線玉水駅まで歩くか…。京橋行が来るまで15分、木津行が来るまで30分。迷いどころだ…。どうするか悩んでいると「近鉄線は順次運転を再開しています。」とアナウンス。ただ京都まで行くとはアナウンスしていないが、急いで近鉄線ホームに戻ると新田辺行がホームにやってきた。これに

乗っても新田辺駅までしか行けませんが、近鉄三山木駅で降りて玉水駅まで歩くのがいいだろう。また途中で近鉄線が止まってしまったら面倒だ。三山木駅で下車し東へ歩く。運転を再開した近鉄電車がバンバン走っていたら悔しいから、後ろに見える近鉄の高架を振り返らない。結構な距離を歩くことになった。木津川に架かる玉水橋を渡れば玉水駅まではすぐだ。今日は大きい川を渡ることが運命づけられた日なのだと自分を納得させる。幸い雨はとうに止んでくれている。玉水駅17時45分発の奈良線に乗車し、東福寺駅から京阪に乗車して、家に帰って来たのは計画より1時間ほど遅い18時40分だった。

その伍後編に続く

# 新 入 会 員 紹 介

平成13年度以降にご入会頂いた先生方に改めて名鑑原稿のご記入をお願いし、左京医報および左京医師会ホームページ上で順次ご紹介することとなりました。

先にご入会の先生方にとっては新しい仲間を知って頂く良い機会ですし、新しくご入会の先生におかれましては、これを機会に医師会行事等に積極的にご参加頂きますようお願い申し上げます。

氏 名 ひら 平 けん 憲 し 二

医療機関名 宝ヶ池リハビリテーションクリニック  
所 属 班 上高野班 男性  
生年月日 昭和41年9月17日生まれ  
出 身 校 宮崎医科大学 平成3年卒  
入 会 年 2024年 A会員  
専 攻 内科  
趣 味 ウォーキング

## ープロフィールー



1991年麻生飯塚病院での研修後、1995年京都大学病院総合診療部で勤務、2001年京都大学大学院医学研究科博士課程内科系専攻修了し、テキサス大学ヒューストン校健康情報学研究員を経て、2003年京都大学病院総合診療科助手に着任。2005年に株式会社プラメドを、2013年に株式会社プラメドプラスを起業。現在は臨床と調査研究事業を兼務している。

氏 名 ふじ 藤 た か 田 かず 和 こ 子

医療機関名 日本バプテスト病院  
所 属 班 北白川2班 女性  
入 会 年 京都府立医科大学 平成元年卒  
専 攻 麻酔科  
趣 味 オーケストラ、室内楽、かぎ針編み

## ープロフィールー



2024年10月から日本バプテスト病院に勤務しています。直近の9年間は北摂や大阪市内の病院であわただしく過ごしていましたが、久しぶりに京都市内で働くことになり新しい気持ちでとりくんでいこうと考えています。どうぞよろしくお願い致します。

## 〈お断りとお願ひ〉

ご紹介させて頂いた先生方の診療所・勤務先、診療時間、連絡先等は左京医師会会員名簿をご参照下さい。原稿のご提出を頂いていない先生がおられましたら、ご協力のほどよろしくお願い致します。原稿は左京医師会事務局に問い合わせ、もしくは左京医師会ホームページからダウンロードして頂くことで入手可能です。

## 編集後記

「タイムトラベル」ものが好きです。いまどきは「タイムリープ」というのだそうです。古くは「バック・トゥー・ザ・フューチャー」から（それより前はお教示下さい）、映画、ドラマ、漫画、小説、ジャンル問わず好きです。最近、タイムリープしてさらに時間も逆に進み、銃弾が人の身体から出てピストルにおさまるようなものまであり、もう大変難しい。「ちょ、待って」と言いながら観ています。

過去を変えたら現在と未来はどうなるのか、過去の自分と出会ったらどうなるのか、など、お話ごとに定義が違うのですが、その設定を検証するのも楽しい。ただ、どの設定をとってもきれいに物語を構築するのは大変困難で、矛盾点なく成立しているものは稀です。師走、師も医師も走る12月、忙しいこんなときに限って細かいことが気になり、現実逃避してしまう私です。

自分がもし過去や未来にタイムリープしたらどうしよう、と、さらに想像を膨らませると、「過去」の選択の集積が「現在」であり、そして「現在」と思っている今は刻一刻「過去」となり、「未来」を形作っていくことが、急に実感されます。

一瞬、重い話になりましたが、12月は1年を振り返り、そして前を向く月です。会員の先生方の来る年と「未来」がよきものでありますよう、願っています。

医報担当 兵庫美砂子

## ホームページコーナー

URL <https://www.sakyo.kyoto.med.or.jp>

左京医師会では、ホームページを開設しております。皆様のアクセスをお待ちしております。また会員メーリングリストの運営を行っていますので、参加ご希望の方は医師会事務所までご連絡ください。

情報広報委員会

## 左京医報投稿のお願い

原稿締切 毎月 15 日  
発行 翌月初旬(合併号はこの限りではありません)  
内容 随筆・感想文・旅行記などを募集しております。また、表紙に絵画・書・写真などを左京医報へ掲載していただける先生がおられましたら、お気軽に事務所か兵庫美砂子までご連絡をお願いします。

### 左京医報 2024 年 12 月号(704 号)

発行日 2024 年(令和 6 年) 12 月 1 日  
発行所 一般社団法人 左京医師会  
京都市左京区岩倉大鷲町422番地  
電話 (075) 701-1500  
FAX (075) 701-1751  
E-mail [info@sakyo.kyoto.med.or.jp](mailto:info@sakyo.kyoto.med.or.jp)

発行人 塩 見 聡 史  
編集人 兵 庫 美砂子  
印刷所 (株)こだま印刷所  
電話 (075) 841-0052  
FAX (075) 811-7873  
E-mail [mail@kodamap.co.jp](mailto:mail@kodamap.co.jp)